

特別企画 ニーズ調査から考える！

道徳授業改善の取り組み

神田外語大学特任准教授 松田 憲子

2019年度、中学校でもいよいよ「特別の教科 道徳」が全面実施となりました。今後は道徳授業の質的充実が求められています。そこで、教科化がスタートした現在、小・中学校教員はどのような点に難しさやつまずきを感じているのか、2018年にある県で小・中学校教員へのアンケート調査（松田・土田2019）等を実施しました。それらの結果をもとに、道徳授業が充実するにはどうしたらよいか考えてみましょう。

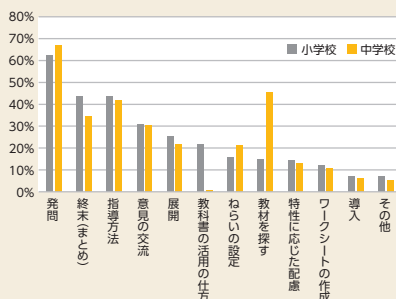
道徳授業をする上での難しさ

教員が道徳授業をする上で難しいと思う点の上位は、中学校の「教材を探す」を除き、「発問」「終末」「指導方法」でした（図1）。校種を問わず「発問」が最も多かったことから、道徳授業の具体的な指導方法や技術に難しさを感じている実感が分かります。

小学校の「終末」の割合は中学校より高く、一足先に教科化された「考え、議論する」道徳授業の「まとめ方」に悩んでいることがうかがえます。

また、中学校では「ねらいの設定」「教材を探す」が小学校より高い結果でした。「教材を探す」は、教科書使用前まで道徳の教材探しに重点が置かれていたことが分かります。しかし、今年度からは教科書を使用するので、道徳授業の難しさを感じる点も変化しているでしょう。

図1 道徳授業をする上で難しい点（校種別）



道徳の授業力を高める上で必要なこと

教員が道徳の授業力を高めるために必要だと考えていることは、小・中学校とも「達人や先輩の授業参観」と「学級経営の充実」が高い結果でした（図3）。逆に少なかったのが「教科の指導力を向上」でした。つまり教員は道徳授業に特有の難しさを感じ、モデルとなる授業を求めていることが分かります。

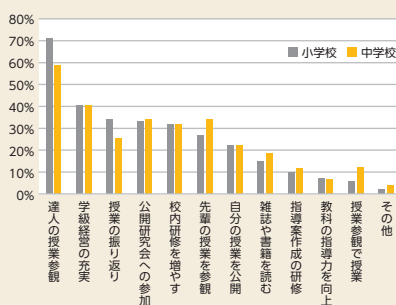
また、「学級経営の充実」が小・中学校とも高いことは特筆すべき点です。

「考え、議論する」道徳に向け、学級経営の大切さがこれまで以上に意識されています。



▲達人の授業を参観する。

図3 道徳の授業力を高めるために必要なこと（校種別）



道徳授業7つのつまずき傾向

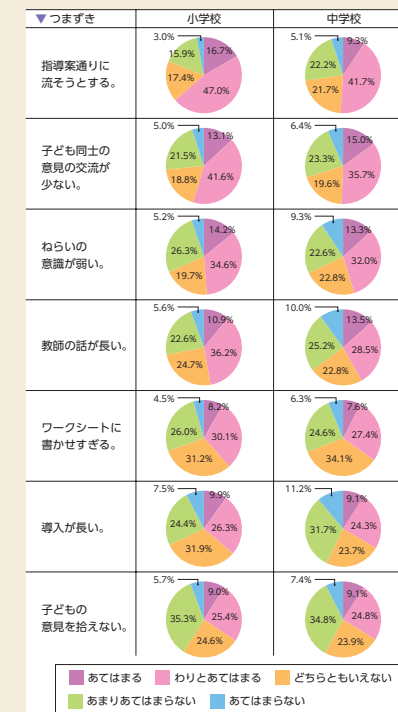
- ▶ 指導案通りに流そうとする。
- ▶ 子ども同士の意見の交流が少ない。
- ▶ ねらいの意識が弱い。
- ▶ 教師の話が長い。
- ▶ ワークシートに書かせすぎる。
- ▶ 導入が長い。
- ▶ 子どもの意見を拾えない。

つまずき傾向の自覚

筆者は以前、経験が浅い教員の道徳授業に見られるつまずき傾向を分析し、7つに分類しました（松田・土田2016）。この「7つのつまずき傾向」をもとに、「あてはまるかどうか」を質問したところ、小・中学校とも「指導案通り流そうとする。」「子ども同士の意見の交流が少ない。」「ねらいの意識が弱い。」「あてはまる」「わりとあてはまる」と回答した教員が多いという結果でした（図2）。小・中学校とも同様の傾向でしたが、割合は小学校のほうが高く、特に「指導案通りに流そうとする。」では60%を超えました。この差は「教科化によるもの」とは言えませんが、小学校で道徳授業への意識が高まっている影響ととらえてよいでしょう。

このつまずきは左で述べた道徳授業の難しさと重なります。「発問」や「指導方法」に難しさを感じ、うまく「終末」でまとめられないことが、自信のなさも手伝って、「指導案通りに流そうとする。」ではないでしょうか。

図2 7つのつまずきにあてはまるかどうか（校種別）



これからの道徳授業改善に向けて

教員が難しさを感じているものや、つまずきの自覚傾向があるものについては、研修ニーズがあることを示しています。「ねらいを意識した授業構成のしかた」や、「子ども同士の意見の交流のさせ方」等、授業力を向上させる研修が必要になるでしょう。

例えば、「主発問」だけを検討する研修も有効です。共通教材をもとに、グループで「主発問」と「予想される子どもの反応」を考えるのです。他の教員の発問やその意図を知ることができ、道徳の発問に対して幅広い視点をもつことができます。

また、「主発問」を考えるためには「教材分析」が必要です。短時間で負担が少なく、「教材分析力」や「発問力」等の授業力を高めることができる研修であることが必須となります。

経験が浅い教員の中には、道徳の授業モデルがなく、よい授業がどのようなものか分からない教員も少なくありません。そのため、まずは手堅い道徳教材と指導案を

もとに「手ごたえのある道徳授業実践」をし、成功体験を積むことに重点を置くとよいでしょう。校内で道徳教育推進教師等、道徳授業に造詣の深い教員が指導者となり、事前に模擬授業を通して、ねらいを意識させ、子ども同士の意見を交流させるような発問や、指名・板書の仕方を研修します。そうすることでモデルができ、道徳授業への不安が軽減されます。このような研修の工夫により、道徳授業がさらに充実されることを願っています。

道徳授業の改善に役立つ書籍紹介

実践から学ぶ 深く考える道徳授業

B5判／160P
定価：2,300円＋税
編著：加藤宣行・竹井秀文



加藤先生の解説
「授業ポイントDVD」付き

